



AIR BAG SYSTEM Manual

※使用前に必ずお読み下さい



衝撃緩和保護システム付ジャケット 取扱説明書



www.hit-air.com

● モデルによってカートリッジボンベのサイズ(容量)が異なります。 ートリッジボンベシールの表示サイズ(容量)とキーボックスカバー裏側のラベル表示が同じ である事をご確認下さい。(モデルによってラベル表示のない場合があります)



・表示が違う場合…破損の原因になります

※ラベル表示がない場合、サイズが不明の時は、 hit-airカタログやホームページでご確認下さい。 ホームページ"交換用ボンベサイズ表"を参照下さい http://www.hit-air.com/whats/index.html

新品購入時に、カートリッジボンベとキーボックスに封印シールが無いもの、シールが破損 (明らかに破れている)しているものは、カートリッジボンベを外してボンベの底部(ネジ部先端) に穴が開いていない事をご確認下さい。

・穴が開いていない場合…未使用カートリッジボンべです、問題ありません。 キーボックスにカートリッジボンベを取付けてご使用下さい。

注意/!\カートリッジボンベのねじ込みが緩いと誤作動の原因となります (カートリッジボンベ取付方法の詳細はP23参照)

ボンベの底に穴が開いていないものは使用できます

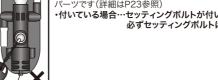
・穴が開いている場合…使用済空ボンベですので使用できません。 新しい未使用ボンベを取付けてからご使用下さい ボンベの底に穴が開いている場合は使用で来ません

※未使用カートリッジボンベの取付けは、"キーボックス再生作業"の手順に従って下さい。(P21参照)

- のイヤーループ、伸縮ワイヤーに劣化がないか?
- 擦れやほつれなど劣化している場合は、新しいものにお取り替え下さい。数年間使用しますと状況に よって劣化する場合があります、1~2年で新しいみのにお取り替えする事をおすすめします。
- キーボックス底にセッティングボルトが付いていない事をご確認下さい。

セッティングボルトはキーボックス再生の際にキーボール取付けに使用する パーツです(詳細はP23参照)

・付いている場合…セッティングボルトが付いた状態では作動しません。 必ずセッティングボルトは外してからご使用下さい



申縮ワイヤーの取付けの際に、必ず結び目を付けて下さい。結び目は作動の際にワイヤーを 抜けなくするストッパーの役割をします。

注意 🔨 結び目がないとワイヤーが抜けてエアバッグは膨らみません。

この取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使い下さい。安心安全のために、年に一度はメンテナンスの ご利用をおすすめします。 無限電光株 TEL 052-807-7750 e-mail mugen@hit-air.com 2



hit-air Lyhar. (衝撃緩和保護システム付ジャケット)

明

○お買い上げありがとうございました。

○ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使い下さい。

この取扱説明書は、必ず常時携帯して下さい。

安全に関する注意事項 P 5

概 要 P7

名称·形状 P9

構 造 P11

4-1 能······ P11 P 11

4.3 P 12

P 13 キーボール Y型 ·····

4-5 CO2カートリッジボンベの取扱い・・・・・・・・ 4-6

₩ 5 使用方法 P 15

> 5-1 ワンタッチリリースについて・・・・・ P 15

ヒットエアー付ジャケットと伸縮ワイヤーの接続・・・ P 15

5-3 伸縮ワイヤーとバイクの固定接続方法 ···· P 16 P 17

作動時及び、作動後の注意 P 19

作動後の再生 P 20

7-1 再生するには・・・・・・・ P 20

キーボックスの再生作業 · · · · · · P 21

ヒットエアーインナーシステムの脱着について P 24 . III → 8 `

ヒットエアーインナーシステムの取外し方法・・・・・・ P 24

8-2 ヒットエアーインナーシステムの取付け方法···· P 26

お手入れ方法(クリーニングについて) P 28

保管方法 P 28

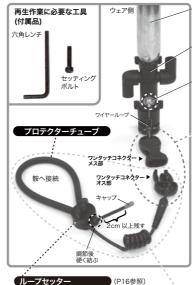
買い換え(交換)のめやす P 28

アフターサービスについて P 29

保証について P 29 保証書巻末

はじめに

ヒットエアーに装備されたアクセサリー



キーボックス《Y型》 (P12参照) エアーバッグの基盤部(作動装置) YKKと共同開発した小型軽量型キーボックス キーボール《Y型》 キーボール ・ボールが抜けるとエア -バッグが作動します。 キーリングはキーボールをキー ボックスに固定するパーツです。 ワンタッチリリース(コネクター) (P15参照)

CO² カートリッジボンベ (P13参照)

キーボックスが作動するとボンベからCO²ガスが

エアーバッグ(各気室)へと送り込まれ膨らみます。

乗車の際に取付けた伸縮 ワイヤーのコネクター・オン 部とウェア側のキーボック スのコネクター・メス部を 接合して下さい。また降車 の際、右図のように外して

からお降り下さい。

介押す コネクター・メス部

几押す

(YKKと共同開発したバックル型) ・オス部 コネクター

バイクにまたがった状態でワンタッチコネクタ を接合して下さい



を固定し、蝶ネジを締めます。 蝶ネジで 強く締付 ける 締める ワイヤーを溝に挟み込む

プロテクターチューブ (P16参照)

伸縮ワイヤーをバイクに取付ける際に固定

伸縮ワイヤーをバイクに取付け、長さ調節を した後でループセッター下部の溝にワイヤー

するネジ

バイクと伸縮ワイヤーへの損傷を防ぐ保護カバー 伸縮ワイヤーをプロテクターチューブの中に通し バイクのフレーム、ハンドルなどの巻きつけ箇所の形 状に応じ、適度な長さで切断して下さい。

(P16参昭)

強度に優れたケブラー糸 を使用したワイヤーにウ ウレタン樹脂~ 伸縮ワイヤ (股の内側を通す)

ン樹脂で表面をコ ティングしています。

(3)

安全に関する注意事項

本誌〈取扱説明書〉は、ヒットエアー(衝撃緩和保護システム)付ジャケットを、安全かつ適切に ご利用頂くために、必ずお読みください。また、いつでも読めるように、大切に保管(バイク内等)

取扱説明書で使われるマークは、次の状況を意味します。

この表示を無視して誤った取扱いをすると人が死亡、又は 重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う 可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定さ れる内容を示しています。



1. ヒットエアー付ジャケットは、バイクに乗車の際に使用するもので、救命衣等、 他の利用は出来ません。

警告 42. ヒットエアー付ジャケットは必ず、上衣として、サイズのあったものを着用して 下さい。

> レインウェア着用の際にも、レインウェアを着用した上に、ヒットエアーを 着用して下さい。

警告 🚹 3. 使用済のカートリッジボンベを取り替える際は、モデル指定のサイズ(容量)の カートリッジボンベを使用し下さい。封板(底部/ネジ部先端)に穴が開いてい ないことを確認してご使用ください。

警告 4. ヒットエアー付ジャケット内蔵のパーツを分解しないで下さい。

注意/15 ヒットエアー付ジャケットを着用する場合は、下に着ている衣類の中に、突起 物、鋭利な物は入れないで下さい、着用前には必ず取り外して下さい。 (例:ピン留めした名札、バッジ、ペン、ネクタイピン等)作動時及び、作動後に も気室(エアバッグ)を傷つけ、正常に膨らまない場合があります。

注意/!\6. ヒットエアー付ジャケット取扱時は、火気厳禁にして下さい。タバコ等が原因 で、穴があいたり、破れたりした場合は使用できません。又、炭酸ガスボンベ を内蔵しておりますので、使用時、保管時ともに40°C以下での使用に限りま す。高温になると破裂の危険があります。

注意/!\7. ワンタッチリリース(コネクター)をはずすのを忘れてバイクから降りると、引っ 張らた伸縮ワイヤーによってバイクが転倒する危険性がありますので、必ず、 バイクに股がった状態でワンタッチリリース(コネクター)をはずして降車して 下さい。

注意 18. 着用の前には、各部の破損などを自主点検してから着用して下さい。 お気づきの点等あれば、取扱店にご相談下さい。

注意 9. ヒットエアー付ジャケットが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、年に一回程度の定期点検(メンテナンスチェック)を取扱店、又は当方 に依頼(有料)して受けて下さい。

注意/10.保管は、折り畳んだり、荷物の下に置くなどの負担のかかる方法は避け、ハンガー で吊りさげて保管して下さい。又、持ち運びや移動する際も同様です。 保管場所は、高温多湿の場所は避けて下さい。

注意/11.ヒットエアー付ジャケットに、針を通したり、エンブレム等の縫付けやアイロンの 使用はおやめ下さい。内部の気室を傷つけ、正常に作動しない場合があります。 エンブレム等の取付可能な位置は取扱店にお尋ね下さい。

注意/!\12.バイクに取付ける伸縮ワイヤーが正しく取付けてあるか、各自チェックして下さい。 不完全な場合は正常に作動せずエアバッグが膨らまない場合があります。

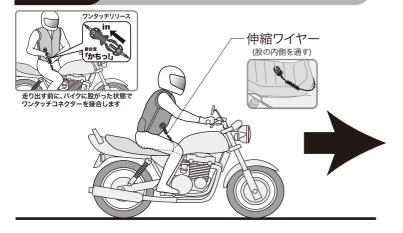
注意/13 ヒットエアー付ジャケット、ベストのヒットエアーインナーシステム脱着は自己 の責任において間違った脱着をしないで下さい。

注意/!\14.ヒットエアー付ジャケット、ベストのヒットエアーインナーシステム(衝撃緩和 保護システム)のみの単体での使用はできません。

注意 15. ヒットエアーインナーシステムを取付けたままでの洗濯、クリーニングはできま せん。

注意/!\16.キーボールに取付けられたワイヤーループ及び伸縮ワイヤーに、異常(ほつれ、 さび、擦れ、切れ等)が確認された場合には、部品交換して下さい。

要



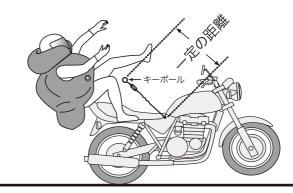
ヒットエアー(衝撃緩和保護システム)付ジャケットは、バイク乗用の際、上衣として着用します。

転倒、衝突などによってライダーがバイクから<u>一定の距離(※1</u>)離れた瞬間に、キーボール が抜け、ヒットエアーに組み込まれたキーボックスが作動して、カートリッジボンベより炭酸 ガスが各気室に送り込まれ、瞬間的に膨張するようになっています。その膨張した気室が、 人体と外部の接触物の間に入り、衝撃を緩和する仕組となっています。このような特性を持 って人体各部への損傷を少しでも軽減出来る事を目的として作られたシステムです。

「本製品は、着用していれば必ず安心である、又、安全を保証するというものではありません」

キーボールは、簡単に抜けない仕組みになっており(4-3) キーボックス〈P12〉参照)走行 時に予想される、ライダーのスタンディングなどの動作は、伸縮ワイヤーによって吸収され 作動しないようになっています。

- 〈※1〉一定の距離とは、ヒットエアー付ジャケットを着用し、ワンタッチコネクターを接合してバイクと つながった状態で、バイクに固定されている伸縮ワイヤーが何の<u>障害〈※2〉</u>もなく伸びきった 状態の距離をいう。方向は前後左右を問わず同じである。
- 〈※2〉障害とは、ヒットエアー付ジャケットを着用し、ワンタッチコネクターを接合してバイクとつながった状態で、伸縮ワイヤーに障害物(車両、荷物、その他)などが触れたりからんだ場合の事を いう。これらの場合、一定の距離に至らなくても作動する事があります。



- ○バイクと共に、衝突・転倒しバイクと着用しているヒットエアー付ジャケットが一定の距離 を離れない場合は作動しません。
- ○ヒットエアー付ジャケットは、膨張した気室以外の場所は、衝撃緩和の効果はありません。
- ○ヒットエアー付ジャケットを着用し、バイクから降車する際に、ワンタッチリリースの取り外 しを怠り、一定の距離離れ、約20kg~35kgの力(4-3 キーボックス〈P12〉参照)がか かった場合も、キーボールが抜け、作動しエアバッグが膨らんでしまいます。誤操作に十分 注意して下さい。
- 誤操作防止のためワンタッチリリースの取付け・取外しは、バイクに股がった状態で行って 下さい。
- ○一度作動したカートリッジボンベは使用できません。サイズ(容量)の合った未使用のもの とお取り替え下さい。

7

8

名称·形状

3 各名称·形状





4-1 機能

- 1. 「一定の距離」離れた瞬間作動し、エアバッグ(気室)に炭酸ガスを送り込み膨らみます。 最大限に膨らむまでにも、衝撃を緩和する効果があります。
- 2. 胸部にあるカートリッジボンベ及び、キーボックスの背面部分には、事故の際にそれら の突起物が原因となる衝撃を緩和・分散させるために、緩衝材やキーボックスプレート (プラスチック製)が取り付けてあります。
- 3. 作動後、最大限に膨らんだエアバッグ(気室)は、徐々にガスが抜ける仕組みになっています。 アクシデントの衝撃度合いなどにより変わりますが、作動直後に身体への圧迫があります が、徐々にガスが抜けて圧迫がなくなっていきます。 息苦しい場合は、脱衣して圧迫を解消して下さい。
- 注意 🕂 4. ウェアの生地、気室、マジックテープ、ファスナー等が傷ついたり、破損した場合は、 正常な作動をしません。取扱店にご相談下さい。再生出来ない場合があります。
- 注意 / 5. 事故などで作動し、傷・破損等が見当たらない場合でも取扱店、又は当方にて メンテナンスチェック〈※3〉を行ってから再使用する事をお勧めします。
 - 〈※3〉メンテナンスチェックとは、ウェアなどに、傷・破損が見当たらなくても、その中 に組み込まれている気室に破損がある場合がありますので、当方にて各気室 に空気を入れ漏れがないか、又、組み込まれた部品に異常がないかを確かめ る作業です。

4-2 気 室

- 1. 気室の素材は、筒状のポリウレタンフィルムを使用し、より強度をもたせ、作動時 の衝撃を出来るだけ多く吸収するようにしてあります。
- 2. 通常、作動した瞬間の気室の圧力は、最大膨張時20kpa(0.2kg/cm)程ですが、 徐々にガスが放出され、圧力はさがっていく様になっています。
- 3. 炭酸ガス(CO2)はキーボックスからエアーチューブを通り各気室(ポリウレタン フィルム)に送り込まれます。
- 4. 破損等に対する強度は、ウェアの素材、ポリウレタンフィルム及び、縫製強度によ っても違います。また、接触する物の形状、強度、摩擦等によってもか変わります。
 - ヒットエアーは、衝撃によるダメージを少しでも和らげるために作られたもの であり、接触物の形状及び、衝撃の度合いにより、破損等も考えられます。

4-3 キーボックス《Y型》 YKKと共同開発した小型キーボックス

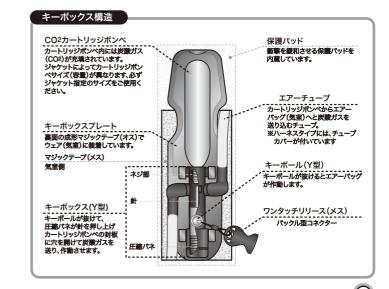
(写真1)この装置は、通常約20kg~ 30kg程度で伸縮ワイヤーを引っ張る力に より、キーボールが抜けて、キーボックス内 に組み込んである圧縮バネが針と連動し、 カートリッジボンベの封板に穴をあけてガ スを送り、作動させます。
着用時、前方どの方向から引っ張っても

キーボールが抜ける仕組となっています。

警告 1. キーボックスを分解したり、 部品をはずさないで下さい。

注意 12. 通常時はカートリッジボンベ を緩めたり外したりしないで 下さい。外してしまった場合 は、キーボックスの取付けネ ジ部分に根元までいっぱいに ねじ込んで下さい。





(1)

4-4 キーボール《Y型》

-ボールは、キーボックス内の圧縮パネと針を固定する 役割をし、キーボールが抜けると圧縮バネと針が連動して カートリッジポンベの封板に穴をあけ、エアーバッグ(気室) が膨らみます。

-ポールとキーリングは、一体型のパーツです。



キーボールセット Y型

4-5 CO²カートリッジボンベの取扱い

- カートリッジボンベ内には炭酸ガス(CO2)が充填されています。
- キーボックスよりキーボールが抜けた際に、圧縮バネが針と連動し、カートリッジボンベ の底部(封印板)に穴を開けて、カートリッジボンベ内のガスを各気室へ送り込みます。
- 一度作動(使用)したカートリッジボンベは使用できません。 (使用済カートリッジボンベは底部(封印板)に穴が開いています) 未使用の新しいカートリッジボンベとお取り替え下さい。
- カートリッジボンベをキーボックスに取付ける際に、ねじ込みが足りないと針がカートリ ッジボンベ底部(封印板)に届かず作動しない場合や、作動してエアーバッグが膨らんで も数秒後に遅れてゆっくり膨らむ様な誤作動の原因になります。
 - カートリッジボンベの取付けは、必ず根元までねじ込んでご使用下さい。

下記の注意事項を守って下さい。破裂の危険性があります。

警告 🚣 1. カートリッジボンベは、40℃以下で使用及び、保管して下さい。 (高温となる車中などでの保管はおやめください。)

、2. カートリッジボンベに強い衝撃を与えないで下さい。

警告 4 3. カートリッジボンベを加熱しないで下さい。

4. カートリッジボンベの外面をサビさせないで下さい。サビ等が発生した場合は 新しいものとお取り替え下さい。

5. 使用済のカートリッジボンベはガスがはいっていない事を確認してから廃棄して下さい。

警告 📤 6. カートリッジボンベを切断したり、穴を開けるなどの行為はおやめ下さい。

警告 🛕 7. モデルによってカートリッジボンベのサイズ(容量)が異なります、交換の際は必ず モデル指定のサイズ(容量)をご使用下さい。

不明な場合は、当社ホームページの「交換用ボンベサイズ表」を参照下さい。 http://www.hit-air.com/whats/index.html

注意 /! 8. ヒットエアー以外の用途で使用しないで下さい。

注意 / 9. ヒットエアー製カートリッジボンベ以外は使用できません。

注意 10. 子供の手の届かない所でご使用、保管して下さい。 注意 11. 通常時(使用時)は、セットしたカートリッジボンベを回して緩めたり外したりしない

で下さい。

注意 / 12. 再生作業等でカートリッジボンベを外した場合、カートリッジボンベをキーボックス に取付ける際、根元までいっぱいにねじ込んで下さい (13)

メッシュ素材で作られたシステム キーボックス固定用 マジックテープ にウレタンフィルムが内蔵されて C ファスナー 首と胴気室を連結させます キーボックス B ファスナー 気室をジャケット に固定、接合します 尻気室固定用

4-6 ヒットエアー構造

首気室マジックテーブ

尻気室ボタン

首部 3カ所 肩口2カ所

インナーシステムはファスナー、マジックテープ、ボタンなどでジャケットに 取付けてあり、それらによって取り外し・取付けが可能です。 ※ジャケットとベストは共に同様の構造になっています。



首気室ボタン(作動時に外れます)

背中気室をジャケットに接合し吊るした状態

ウレタンフィルム(チューブ状)

A ファスナー

金属ボタン3カ所

(裏面/尻気室マジックテープオス)

5-1 ワンタッチリリースについて

○ ヒットエアーには、バイクへの乗降時に簡単に取付け、取外しできるワンタッチリリースが 必要となります。ワンタッチリリースとは、バイクの所定の位置に取付けた伸縮ワイヤーと、 ヒットエアー付ジャケットのキーボックスから出ているキーボールとをつなぐパーツです。





- 1. 乗降時・走行時にワンタッチリリース(コネクター)などがバイクの タンク各部位に接触し、傷つく場合があります。
- ※上記の状況が予想される場合、タンク保護シール等によう保護をお勧めします。
- 2. 接合する際は、メス部を持ちながらオス部を挿入して下さい。 その際に「カチッ」と挿入音が出るのを確認してください。 挿入音もなく不完全に挿入している場合は、外れる事があります。
- 3. オス部とメス部の挿入がうまく出来ない場合や違和感がある場合 は、新しいものにお取り替え下さい。無理に行うと、外せなくなる事 や自然に外れる場合があります。
- 4. 降車時に、接続を解除したオス部・伸縮ワイヤーが、エンジン部分や マフラーなどの高温部分に触れると変形や破損の恐れがあります。

ヒットエアー付ジャケットと伸縮ワイヤーの接続

- 走行するために接続するには、バイクに股がってから、ワンタッチリリース(コネクター) のメス部の両端を持ちながらオス部を挿入させ、「カチッ」という挿入音を確認して下さい。 (写真1)
- バイクから降りる際には、ワンタッチリリース(コネクター)のプレスボタン(両側)を押して、 外してからバイクをお降り下さい。(写真2)





警告
 接続して走行する前に、キーボックスの赤ガードが上(フリーの状態〈P12〉写真2参照)になって いる事を確認して下さい。ロックの状態では作動しない事や誤作動・破損する場合があります。

(15)

▶ 伸縮ワイヤーとバイクの固定接続

伸縮ワイヤーのバイクへの接続方法、接続筒所は各種バイクにより異なります。 乗車時は様々な状況によりライダーの動きが変わります、その場面を十分想定し、誤操作に よる誤作動が起こらない様に、伸縮ワイヤーの長さ、バイクへの取付け位置を決めて下さい。 (伸縮ワイヤー取付方法・位置 P17~18参照)

不適切な接続の場合、誤作動や作動しない恐れがありますのでご注意下さい。

警告 1. 降車時に、接続を解除した伸縮ワイヤーがエンジン等の高熱部分に触れた場合、変形や破損の恐れがあります。

- 2. 伸縮ワイヤーは運転の妨げになる場所への取付けはお避け下さい。
- 3. 伸縮ワイヤーをヒットエアー付ジャケットに接続しないで走行した場合に、車輪に絡み 付く場所への取付けはお避け下さい。事故につながる恐れがあります。

注意 / 4. 乗降時・走行時に伸縮ワイヤーなどがバイクの各部位に接触した場合や、ヒットエア 作動時にキーボールが抜けた際に伸縮ワイヤーの先に付いたキーボールなどがバイ

- クの各部位に接触し、傷つく場合があります。
 - 5. 伸縮ワイヤーの取付けが不完全の場合、伸縮ワイヤーが抜けて作動しません。
- 6. 外装にこすれ傷、こげあと、めくれ、ヒビ等の異常を確認した場合は新しいものにお取 り替え下さい。そのまま使用すると、伸縮ワイヤーの切断やループセッターから抜け 外れの原因となります。
- 7. 伸縮ワイヤーのお取り替えは、各自の責任において適切に行って下さい。 また、事故の原因となりますので当社指定の伸縮ワイヤーを必ずご使用ください。

○ 伸縮ワイヤー

伸縮ワイヤーのワイヤー部には、強度に優れたケブラー糸を使用し、ウレタン樹脂で表面を



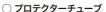


○ ループセッタ

ループセッターは、伸縮ワイヤーの長さを調節し固定するパーツ です。

乗車の際に、蝶ネジが強く締まっている事を確認して下さい。 長さ調節する場合は、ワイヤーをループセッターの溝に挟み込み、 蝶ネジを強く締めて下さい。ループセッターより出たワイヤーは根 元に結び目を作り(硬く結ぶ)、先端部を2cm以上残して、余った 部分を切り、キャップをはめて下さい。

※結び目が無いとワイヤーが抜けてエアバッグは膨らみません。



バイクと伸縮ワイヤーへの損傷を防ぐ保護カバー

伸縮ワイヤーをプロテクターチューブの中に通し、バイクのフレームやハンドルなど、



巻き付け箇所の形状に応じて、適切な長さに切って使用下さい。



5-4 伸縮ワイヤー取付方法・位置

○伸縮ワイヤーの取付方法



フレームにプロテクター チューブを巻き付けて長さ を調節し、余った部分は カットします。



2 プロテクターチューブに 伸縮ワイヤーを诵します。



3 プロテクターチューブから 出たワイヤーをループセッ ーで仮止めし、伸縮ワイ -の長さを調節します。



4 バイクに股がりスタンディ ング姿勢で、伸縮ワイヤー が伸びきった状態で長さ を決めます。



ムに取付けます



B:右側に露出した 固定可能なフレーム部分

注意 <u></u> Caution 伸縮ワイヤーは、運転動作 の妨げになるような場所、 バイクに損傷を及ぼす場所、 引っ張られた際に外れたり抜 けたりする場所、エンジンや マフラー等の高温付近、など への取付けはおやめ下さい。



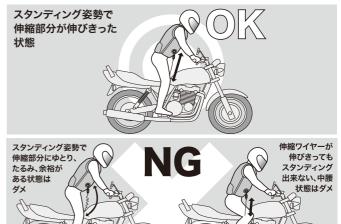
5 ループセッターでしっかり固定し、余ったワイヤーの根元を硬く 結び、2cm以上残した状態でカットし、先端にキャップをします。 結び目はワイヤーを抜けなくするためのストッパーの役割をします



6 シートをかぶせて完成です。

○伸縮ワイヤーの長さ調節方法

バイクにまたがりスタンディングし伸縮ワイヤーの伸縮部分が伸びきった状態にする





車上でのスタンディングし 伸縮部分が伸びきった状態



長すぎると作動が

地面からスタンディングし 伸縮部分が伸びきった状態



短すぎると誤作動の

原因になります

ングし(中腰程度)伸縮部分 が伸びきった状態

バイクの大きさ車種、ご自身の身長によって伸縮ワイヤーの取付位置、長さが異なります。 上記を参考にご自身にあった方法で調節して下さい。



《別売》収納用ワンタッチコネクター バイクを降りた時にワイヤーを収納固定出来ます



)作動時及び、作動後の注意

着用したヒットエアー付ジャケットが作動し膨らんだ状態になった場合、以下の点に 注意して下さい。

- 1. ヒットエアー付ジャケットは、特に首を保護するため、膨らんだ際首周りに圧力が かかります。そのため、着用しているヘルメットのあごひもが取れにくくなったりす る場合がありますが、その際はバックル等を外して下さい。
- 2. 現場の状況に合せて慌てずに、脱衣して下さい。
- 3. 事故等により現場が危険な場合、安全な場所へ避難してから脱衣して下さい。
- 4. 瞬時に膨らんだヒットエアー付ジャケットは、身体に多少の圧力がかかりますが、 徐々に炭酸ガスが抜けていくようになっています。 事故により膨らんだ状態で車両に挟まれたり、圧迫をうける状態になっても落ち 着いて行動して下さい。
- 5. 膨らんだ気室が、大きな衝撃や鋭利な障害物により破損した場合は、気室前部の 炭酸ガスが直ぐに抜けてしまいます。
- 注意 / 1 6. 走行中において何らかの原因により誤って作動してしまった場合は、慌てず、すみ やかに安全な場所へバイクを移動し、ヒットエアー付ジャケットを脱衣して下さい。 そのまま走行しますと、膨らんだ気室等によって大きな風圧を受け、不安定な状 態となり大変危険です。
- 注意 1. 作動の際、外傷の出来たヒットエアーは、取扱店や当方でメンテナンスチェックの 上、カートリッジボンベを新しいものに取り替えて再びご利用下さい。 著しい外傷、部品破損の場合は、再生出来ない場合があります。
- 注意 / 8.ツーリングなどで一度作動したヒットエアー付ジャケットを、やむをえずお客様が 再生させる場合は、以下の点に注意して下さい。
 - ○ヒットエアーの外傷(キズ・穴)等がない事を確認する。
 - ○作動した時に、エアバッグが膨らんだ事を確認する。
 - ○予備のカートリッジボンベは、ジャケット指定のサイズ(容量)で未使用の カートリッジボンベである事を確認する。

上記を確認した上で、問題がなければ、お客様の責任に於いて再生して下さい。 異常がある場合は、正常に作動しない場合があります。 詳しい再生方法は"作動後の再生"P20~23を参照して下さい。

作動後の再生

7-1 再生するには

・度作動したヒットエアーは、取扱店で〈メンテナンスチェック〉をして、再生させる事をおす すめします。ここに紹介するセッティング方法で、各自で再生する事は出来ますが、正しく セットしないで利用した場合、正常な作動をしない場合があります。又、作動した際などで外 傷などの異常が発生したものは再生できません。以上の点を十分考慮してお取扱い下さい。

方法



異常 有り

異常

取扱店に持ち込み、メンテナンス チェックにより、再生可能か確認 してもらい指示を受ける

取扱店に持ち込み、必要な部品 (カートリッジボンベ等)を交換し て再生する

無し 各自で再生する

> ※未使用カートリッジポンベと付属の再生工具 (セッティングボルト、六角レンチ)が必要です

各自で再生するおおまかな手順 詳しくは次のページの「再生作業」を参照下さい

未使用カートリッジボンベと再生工具を準備します 〈P21〉1.参照 カートリッジボンベを外します 〈P21〉2.参照 エアーバッグ気室から炭酸ガスを抜き出します 〈P21〉3.参照 キーボックスに工具を使ってキーボールをセットします 〈P22-23〉4~7.参照 未使用カートリッジボンベを取付けます 〈P23〉9.参照 +--ボックスのカバーを締めて完了です 〈P23〉10.参照



(20)

7-2 キーボックスの再生作業

1.再生に必要な工具を準備します(写真1)

未使用のカートリッジボンベと再 生に必要な工具の六角レンチと セッティングボルトを準備します。

注意 カートリッジボンベはジャケット 指定のサイズをご使用下さい。

2.使用済カートリッジボンベを回 してキーボックスから外ます。 (写真2)

カートリッジボンベの付根はネ ジになっていますので、使用済 カートリッジボンベを写真2の 様に回しながらキーボックスか



3.エアーバッグ(気室)からエアー を抜きます(写真3) 気室からガスを抜く作業を行いま

す。突起物などの無い平坦な場所 にヒットエアージャケットを広げて 各気室部分を押すようにしてガス を抜き出して下さい。 丸めたり、畳んだりする行為はお

やめ下さい、内部部品に損傷を与 える場合があります。根気よく、 ほぼ完全にガスが抜けるまで行っ て下さい。

注意

この作業が完全に行われない場合は 各気室部分の収納がうまく出来なくな ります。また、エアーバッグの誤作動の 恐れがあります。





注意
カートリッジボンベが外れにくい場合は、先に キーボールをセットしてからボンベを外して 下さい。(3~7参照)



4.キーボックスにセッティングボル トを差し込みます(写真4)

キーボックスの下面にある穴にセ ッティングボルトを差し込み、手 で締めます。きつくなったら六角 レンチを使用下さい。 (ボルトを締めるとキーボールの 穴が下へ移動します)

5.六角レンチでキーボールの穴が 中心にくるよう調節します(写真5)

徐々に締めていき内側の金属穴 を外側穴の中心に来るように調 節します。キーボールの穴が中 心に来たら、キーボールをセット

6.キーボールをセットします (写真6)

キーボールのリングを穴に深く押 し込みます。リングと穴を平行に セットします。うまく入らない場合 は、セッティングボルトを緩めたり リングを爪で押し込んだりします。 写真の〈良い挿入例〉の様に、 キーリングがキーボックスのプラ スチック部円形穴より、リング全 体が均等に沈んだ状能まで挿入 してある事を確認して下さい。

〈悪い挿入例〉の様に、キーリングがうまく 挿入されていない状態では使用しないで 下さい。本来より、小さい引張りで作動し たり、自然にキーボールが抜け不意に作 動する恐れがあり危険です。











次ページへ

(21)

次ページへ

7-2 キーボックスの再生作業

7.セッティングボルトを外します (写真7)

キーボールがセット出来たら必ず 六角レンチでセッティングボルトを 外します。

警告

ーー セッティングボルトを外し忘れると エアーバッグは作動しません。

8.各気室を収納して全てのボタン を止めます(写真8)

9.未使用のカートリッジボンベを 取付けます(写真9)

未使用のカートリッジボンベを、 キーボックスの取付けネジ部分 に根元までねじ込んで下さい。 異常が感じられる場合は取扱店に ご相談下さい。





カートリッジボンベのシールの指示方向に締めて取付けます

注意 🚹

カートリッジボンベのねじ込みが緩い とエアーバッグ作動の際に完全膨張し ない恐れがあります。

10.再生作業は完了です(写真10)

ワンタッチコネクターメス部をキー ボックスカバー穴から外に出し、 キーボックスのカバーを閉じて 下さい。











完了

₩ 8

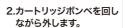
ヒットエアーインナーシステムの脱着について

ヒットエアー付ジャケットに内蔵されたインナーシステム(気室)の脱着は、ウェア側を洗濯・クリーニングする場合などに行います。 各自の責任において間違った脱着をしないようご注意下さい。脱着作業は慎重に行って下さい、取付け方の不備によって、誤作動や破損の原因となります。

8-1 ヒットエアーインナーシステム(エアバッグ)の 取外し方法

ウェアの外側に露出し た気室は、ボタンとマジ ックテープで留めていま す。

1.ウェアを平らな所に広げ て下さい



3.首気室、尻気室のプラスチックボタンとマジックテープを外します。







次ページ

8-1

4.前ファスナーを開き、ウェア 内側の裾ファスナーを全開 にします。

> エアバッグシステムは、 ウェア内部に、ウェアと 気室を3カ所のファス ナーで接合し固定して います。 背中(A)、胴気室(B,C)

背中(A)、胴気室(B,C)

5.ウェア内部の3カ所(A,B) のファスナーを外します。

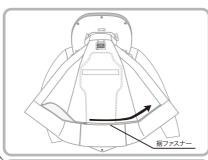
背中(A)、胴気室部(B,C)の 3カ所の接合ファスナーを 外します。

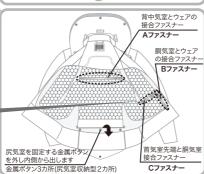
首気室先端と胴気室を ファスナーで接合して います。(Cファスナー)

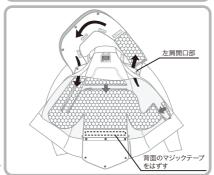
6.Cファスナーを外します

7.尻気室の金属ボタンを外し ます(3カ所)

- 8.首気室の先端を左肩開口部 から抜き出し、首周りのマジ ックテープをはがしながら 矢印の方向へ通し、取り外し ていきます。
- ※尻気室収納型は尻部のマジックテープ、開口ファスナーは付いていません。 尻気室の金属ボタンを外します(2カ所)

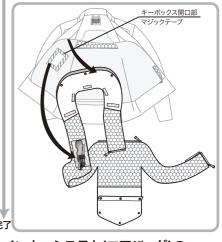






9.キーボックス開口部の四 方にマジックテープはが しながら分離します

洗濯・クリーニングの際は、 肩、肘、背中パッドを外して から、洗濯表示に従って行って下さい。

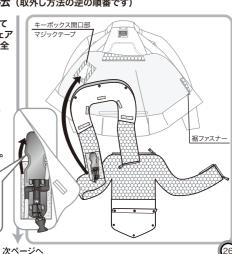


8-2 ヒットエアーインナーシステム(エアバッグ)の 取付け方法 (取外し方法の逆の順番です)

1.ウェアを前側を上にして 平らな所に広げて、ウェア 内側の裾ファスナーを全 開にします。

2.気室側のキーボックス 部を、ウェア右側のキ ーボックス開口部に、 四方のマジックテープ を合せて取り付けます。

キーボックスのプレート の先端を開口部の内側 から差し込んでから、四 方のマジックテープを合 せて取り付けます。



25

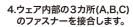
次ページへ

8-2 エアバッグの取付け方法

3.右肩開口部の内側から矢印 の方向へ首気室を通してい きます。 通した首気室の先端を左肩

開口部の中へ入れます。

注意 ねじれのない様に注意して セットして下さい

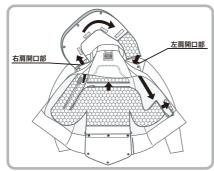


- 5.尻気室を尻開口部から外側 に出し、金属ボタンを3カ所 留め、マジックテープの位置 を合せて留めます。
- ※尻気室収納型は金属ボタン を留めます。
- 6.首周りのマジックテープを ウェアと気室の位置を合せ て留めます。

首気室マジックテーフ 肩口2カ所 首周り3カ所

- 7. 肩口と背面の首気室プラス チックボタンを留めます。 (肩口2カ所 首周り3カ所) 尻気室のプラスチックボ **タンを留めます。**(3カ所)
- 8.最後にカートリッジボンベ を取り付け、ワンタッチコ ネクターを穴に通しファス ・ ナーを締めます。

(カートリッジボンベ取付けは 23ページ"9"を参照)







完了

お手入れ方法 (クリーニングについて)

- 1. ヒットエアー付ジャケット、ベストは、ヒットエアーインナーシステム(衝撃緩和保護 システム)が装着されたままの洗濯・クリーニングは出来ません。
- 2. ヒットエアーは水に浸けないでください。
- 3. ヒットエアー付ジャケット、ベストはヒットエアーインナーシステムとプロテクター (肩、肘、背中等)を取り外し、ウェアのみを洗濯表示に従い、洗濯・クリーニングして 下さい。
- 4. ヒットエアーシステム表面(首、尻気室等)、一体型エアーバッグが汚れた場合 ・濡れタオル等で汚れを拭き取るようにして下さい。
- ・ボンベを付けたままハンガーにかけ、お風呂場などで表面にシャワーで水をかけて 汚れを落としてください。その場合、キーボックスに直接水をかけないでください。

保管方法

ヒットエアー付ジャケットを永く安心して使用するために、次のような所や条件下では 保管しないで下さい。

- 1. 高温になる所(直射日光の当る場所、車中、ストーブの近くなど)
- 2. 雨漏りする場所
- 3. 蒸気のあたる場所
- 4. 湿気の多い場所
- 5. 他の物の下積み
- 6. ネズミなどの害のある場所
- 7. 子供の手の届く場所
- 8. 折り畳んだり、丸めたりしての保管(ハンガー掛けにして下さい)

買い換え(交換)のめやす

ヒットエアーを何のトラブルもなく正常に使用された場合でも、以下の様な状態 が発生した場合は、新しく買い換えるか取扱店にご相談下さい。

- 1. 生地部分がこすれたり、ほつれたりしてきた場合。 又、それによって内部気室(ポリウレタンフィルム/白色)が見えてきた場合。
- 2. キーボックス部分やカートリッジボンベにヒビ、サビが発生した場合。
- 3. 伸縮ワイヤー、ワイヤーループが擦れなどによって、ほつれが出た場合。
- 4. 各素材が著しく変色、変化が生じた場合。

(28)

アフターサービスについて

〈修理を依頼される場合〉

(27)

○ お買い上げの取扱店まで保証書を添えて、商品をご持参下さい。 修理により商品の機能が維持できる場合に、ご希望により有料で修理させていただきます。 取扱店にお依頼にならない場合には、直接、当方へお問い合せ下さい。

〈メンテナンスチェックをご希望の場合〉

- メンテナンスチェックとは、ウェアなどに、傷・破損が見当たらなくても、その中に組み込ま れている気室に破損がある場合がありますので、当方にて各気室に空気を入れ漏れがな いか、又、組み込まれた部品に異常がないかを確かめる作業です。
- ヒットエアー付ジャケットが常に正常な機能を維持するために、使用頻度にもよりますが、 年に一回程度の定期点検(メンテナンスチェック)を取扱店、又は当方に依頼(有料)して受 けて下さい。

お問い合せ先:無限電光株式会社

TEL: 052-807-7750 E-mail: mugen@hit-air.com

13 保証について

○はじめに「本製品は、あなたが事故等のトラブルの際、安全を保証するものではありません」

- 1. 巻末ページが保証書です。必要とあれば切り離して御使いください。
- 2. 必ず「取扱店名、購入日」等の記入をお確かめの上、保証書内容をよくお読みいただき、 大切に保管して下さい。
- 3. 「取扱店名、購入日」の記入のない場合、又、虚偽の記入の場合、保証いたしかねます。

製造、発売元 無限電光 株式会社

E-mail mugen@hit-air.com URL www.hit-air.com/horse

〒468-0055 名古屋市天白区池場1丁目1012 TEL 052-807-7750 FAX 052-807-7901



ヒットエアー hit-air (衝撃緩和保護システム)付ジャケット保証書

〈保証の発効〉

この保証書は、お買い上げの販売店が、保証登録書に必要事項を記入、捺印する事に より、有効となります。

2 〈保証内容〉

- ○弊社が製造したヒットエアー付ジャケットを構成する各部品の材料、又は、製造 上の不具合が発生した場合は、その部品の交換、又は、補修により、無料で修理致 します。その際、取りはずし、交換した部品は、弊社の所有となります。
- ○使用後のウエア (布地、皮、ケブラー)及び、内部気室 (ウレタンフィルム)の破損 については、保証の対象になりません。
- 3. 〈保証期間〉
 - ○お買い上げ日より1ヶ年
 - 通販等、配達によってお買い上げの場合、発送日より1日後からの1ヶ年となります。
- 4 〈保証できない事項〉
 - 1). 次に示す事項は、保証修理致しません。
 - ①使用上の誤り及び、不当な修理や改造による故障及び、損傷。
 - ②取扱説明書などに示す取扱方法と異なる使用に起因する不具合。
 - ③保守、整備の不良、又は、間違いに起因する不具合。
 - ④ 弊社以外の者(販売店、販売会社含む)が取り付けた、指定外部品及び、 それに起因する不具合。
 - ⑤ 指定部品であっても、異なった取り付け、操作によって起因する不具合。
 - ⑥指定されたカートリッジボンベ以外の物を使用した場合。
 - ⑦地震、台風、落雷、水害などの天災、事故、又は、火災に起因する不具合。
 - ⑧経時変化、あるいは、使用損傷により発生する不具合(各パーツの色あせ、 ほつわ. サビ. 襟の型くずれなど).
 - ⑨機能上影響のない感覚的現象(しわ、色あせ)、外観の劣化。
 - ⑩海外へ持ち出された場合(その時点で保証が打ち切りになります。)
 - 2). 次に示す費用は負担致しません。
 - ①メンテナンスチェック及び、整備にかかる費用。
 - ②使用によって消耗した部品。
 - ③ 使用及び、再使用出来なかった事による不便さ、及び損失など。(電話代、 レンタカー代、休業補償、営業損失など)
 - ④ 指定販売店以外での修理費用。
- 5. 〈保証の適用〉

この保証書は、日本国内で販売し、使用される商品のみに適用します。よって、海外へ 持ち出す場合は、その時点で保証が打ち切りになります。